

令和3年度
10月～3月

事業案内



お申し込みは、
お電話または直接窓口へ
お願いします。



歴史講演会

日時 10月16日(土)
午後1時30分～3時
講師 石川日出志氏(明治大学教授)
内容 弥生時代の福島の魅力
定員 50名
料金 無料
申込 要/9月16日(木)～
定員次第終了



第二回歴史講座

日時 10月31日(日)
午後1時30分～3時
講師 大安場史跡公園職員
内容 縄文時代の郡山について
定員 50名
料金 無料
申込 要/9月30日(木)～
定員次第終了



君も発掘探検隊

日時 11月3日(水・祝)
午前10時～12時
内容 模擬発掘と工作
人数 5名(付き添い2名まで)
料金 無料
申込 要/10月5日(火)～
定員次第終了



草木染め

日時 11月28日(日)
午前10時～12時
内容 紫根染めを行います
定員 10名
料金 2,500円(材料費)
申込 要/10月28日(木)～
定員次第終了



石碑の拓本実習

日時 2月19日(土)
午前10時～12時
内容 石碑の拓本の実習と解説
人数 15名
料金 無料
申込 要/1月19日(水)～
備考 定員次第終了



歴史ウォーク

日時 2月27日(日)
午前9時30分～12時
内容 大安場周辺の遺跡等を
歩いて散策します
人数 20名
料金 無料
申込 要/1月27日(木)～
備考 定員次第終了

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、事業の内容が変更または中止となる可能性がございます。最新の情報は随時ホームページやFacebook等でもお知らせいたしますので、ご了承ください。
※11月7日に予定していた歴史散歩は、感染症対策が難しいため、延期といたします。詳細は決まり次第、ホームページやFacebook等でお知らせいたしますので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症 拡大予防のお願い

大安場史跡公園のご利用にあたっては、「新しい生活様式」を踏まえ、感染拡大防止のご協力をお願いいたします。

- (1) 人との間隔をあげ、身体的距離の確保をお願いいたします。
- (2) 「マスクの着用」と「咳エチケット」をお願いいたします。
- (3) こまめな「手洗い」や「手指消毒」をお願いいたします。
- (4) 当日は検温をし、ワクチン接種後であっても、次の症状のあるお客様のご来園はご遠慮ください。

- ・当日を含め2週間以内に発熱(受診や服薬等により解熱している場合を含む)
- ・呼吸器症状(咳・くしゃみ等)がある方や具合の悪い方
- ・感染拡大している地域や国への訪問歴が14日以内にある方

大安場史跡公園

(公益財団法人郡山市文化・学び振興公社)

住所:福島県郡山市田村町大善寺字大安場160番地
電話:024-965-1088 FAX:024-965-1090
Mail:oyasuba@bunka-manabi.or.jp
休館日:月曜日(月曜日が祝日の時はその翌日)
※公園は年中無休です。

ウェブサイトも
チェック!

大安場史跡公園 検索



発行:令和3年9月30日

紙へリサイクル可
この紙はFSC®認証紙です。



おおやすばしせきこうえん
大安場史跡公園

まるさんかくしかく

タイトルはまるい石鯛、さんかくは古墳の前方部しかくは後方を表現しています。



おうせ 逢瀬町の歴史

大安場史跡公園では、10月23日(土)から12月19日(日)にかけて、令和3年度第2回企画展「逢瀬の歴史」を開催いたします。今回は、郡山市西部に位置する逢瀬町の歴史について解説します。

逢瀬町は72.02km²の面積を有しており、郡山市全体の9.5%(郡山市の面積:757.20km²)を占めます。郡山盆地の西縁から奥羽山系に連なる丘陵上に位置しており、山林資源が豊富な地域です。町内には35の遺跡が確認されており、様々な時代の貴重な資料が見つかっています。



逢瀬町データ

面積	72.02km ² 郡山市(757.20km ²)の約9.5%
世帯数	1,236世帯 郡山市(144,493世帯)の約0.08%
人口	3,696人 郡山市(329,400人)の約1.1%

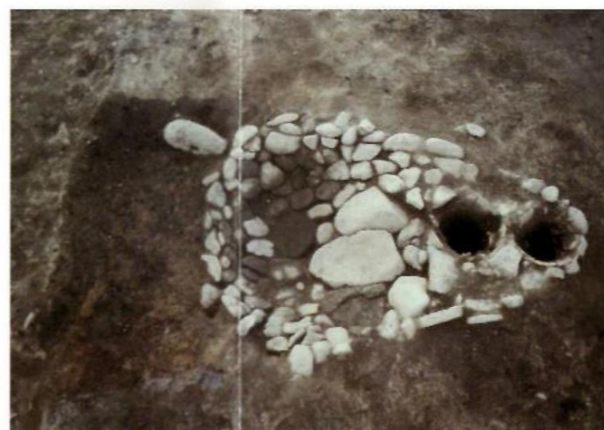
※令和3年4月1日現在の住民基本台帳による

逢瀬町の縄文時代



縄文時代の逢瀬町では、中期後半以降に大規模な集落が作られるようになります。特に上納豆内遺跡は、ドーナツ状に住居跡が配置された環状集落であることが分かっています。環状集落の全容が明らかになった貴重な発掘例です。

この他、四十内遺跡では晩期の集落が見つかっており、土偶や珍しい土製品などが出土しています。



複式炉（上納豆内遺跡）



縄文時代中期の土器（仁井町遺跡）



土偶（四十内遺跡）



分銅型土製品（四十内遺跡）

逢瀬町の中世



逢瀬町には中世に作られた城館跡が10か所（多田野地区5か所、河内地区4か所、夏出地区1か所）確認されています。残念ながら発掘調査が行われたものはありませんが、堀跡や土塁が残っているものがあります。



逢瀬町の城館跡分布図



熊越の板碑

逢瀬町の弥生時代

逢瀬町では弥生時代の遺跡はあまり多くなく、集落跡はまだ見つかっていません。しかし、上納豆内遺跡と桜木遺跡で弥生時代の墓に使われたと思われる土器が見つかっており、周辺に集落があった可能性があります。



弥生土器（上納豆内遺跡）

逢瀬町の平安時代

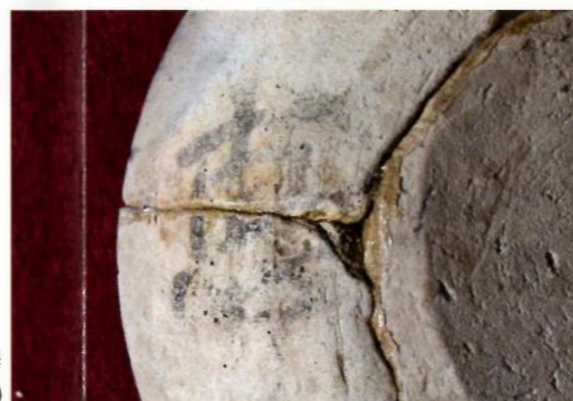
平安時代になると遺跡の数は増加します。新田開発が盛んになることから、集落の数も増加します。上納豆内遺跡や四十内遺跡でも平安時代には集落が作られ、多くの住居跡が見つかりました。また、桜木遺跡では土器を焼いたと思われる窯跡も見つかります。



「恵？」墨書土器（桜木遺跡）



竪穴住居跡（上納豆内遺跡）



◆第2回企画展記念講演会

「縄文時代中期後半の生活文化」

第2回企画展を記念して、講演会を開催いたします。縄文時代の生活について、最新の研究成果を解説します。

日時：令和3年12月12日（日）
午後1時30分～午後3時

講師：菅野智則氏（東北大学埋蔵文化財調査室准教授）

定員：50名（先着順）

対象：中学生以上

募集：11月12日（金）午前9時から募集開始。

大安場史跡公園にお電話かガイダンス施設に直接お申込みください。

問合せ先：大安場史跡公園（Tel.024-965-1088）